

言の発ぎょう

赤道直下、一万

六千の島々からな

るインドネシア

は、東南アジア最

大のイスラム教国

である。その中に

あつて、ジャワ島

の東に位置するバ

リ島は、島民の大

半がヒンズーダル

マ教を信じる、い

わば神々の住む島である。

この島の魅力は、昔ながらの

豊かな自然に加え、善悪の神々

が戦うパロン・ダンスや夜にた

いまつの明かりの下で繰り広げ

られるケチャック・ダンスなど

の伝統芸能、手作りの工芸品な

どにある。

プランプラン（ゆっくりゆっ

くり）やキラキラ（大体）とい

う言葉がよく使われるように、

経済の急速な発展を拒絶してい

るようなところも、私たちの精

神をなごませてくれる。

バリ島観光

この落ちついた島を守ってい

るのが、ヤシの木の高さ以上に

は建物をつてないというルール

だ。建物は高くても五階までに

制限されているため、熱帯の樹

木と建築物は違和感なくとけあ

っている。そのため、澄みきつ

た空はひろびろと広がり、建物

のオーナーは高さを競うことな

く、美しく落ちついたデザイン

で人目をひこうとする。

現在、バリ島の観光産業が、

島民の生活を他の地域よりも豊

かにしているのも、この優れた

開発コンセプトに負うところが

大きい。

熊本の観光地づくりにも、そ

の地域の風土や歴史、文化、生

活習慣にねざした明確な開発コ

ンセプトができないものだろう

か。確かにさまざまなイベント

が開催され、また多くの開発計

画が発表されている。しかし、

バリ島のように簡にして要を得

たルールをいまだ寡聞にして知

らない。

亀井通産（井通産）
太郎（太郎）
創（創）
井（井）
かめい（かめい）
亀（亀）